

豊臣秀吉御座船船印瓢
(個人蔵)



文禄の役に際し、秀吉は自ら中国大陸へ渡海すべく御座船を建造させた。本品はその御座船の帆柱の先端に飾られたと伝える船印。陸の戦場で秀吉の所在を示した馬印と同様、この船印も金の瓢箪を逆さに立てた形状となっている。

刀銘(三葉葵紋)
以南蛮鉄於武州江戸越前康継 (高原家蔵)

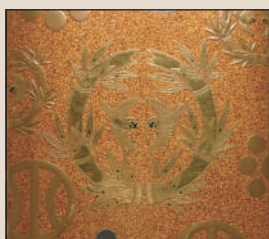


徳川家康のお抱えの刀工、康継の作品。「肥後大掾下坂」と称し越前で活動していた康継は、やがて家康・秀忠に召されて江戸で作刀。その技量を認められて家康から「康」の一字と徳川家の三葉葵紋を拝領した。

本品には、康継が「南蛮鉄」(幕府がイギリス人やオランダ人を通じて輸入したインド産の鉄)を用いて江戸で作った旨の銘文とともに、三葉葵紋を彫り込んでいる。

梨子地御紋散蒔絵目録箱
(宇和島伊達文化保存会蔵)

伊予宇和島藩主伊達家に伝来した調度品。箱全体を梨子地とし、その上にいずれも伊達家の来歴にかかわった由緒を持つ「竹に雀」「豎三引両」「九曜」の各紋を蒔絵で散らす。「竹に雀」は仙台藩主伊達家のものと竹の形状、笹の付き方、笹に落ちる露の数などが異なる「宇和島笹」で、蓋の中央にひときわ大きくあしらわれている。



織田信長朱印禁制

天正8年3月日付 摂州湯山宛 (大阪城天守閣蔵)

織田信長が有馬の温泉寺に与えた禁制。自身に反旗を翻した荒木村重を屈服させるべく尼崎城・花熊城などを攻撃した際、近在の寺院や集落に対しその安全を保証したものの一つである。

本状に押されたのは有名な「天下布武」の朱印。「天下に武を布[し]く」との印文は、武力による全国統一の志を表明したものとして広く知られてきたが、近年ではその解釈も見直されつつある。



(背景) 諸将旌旗図屏風 (大阪城天守閣蔵) 戦国期から江戸初期にかけての80名におよぶ大名が用いた旗幟、馬印などを豪華に描きこむ。

学芸員の
おすすめ
コレクション

大阪中之島美術館 嶋本昭三《1962-1》

昭和三年生まれで「昭三」、というのは完全な余談ですが、具体美術協会の草創期から活動した作家です。彼の代名詞は「瓶投げ」。絵具を詰めた瓶をカンヴァスに投げつけて炸裂させて描く、という何ともダイナミックな制作方法をとっています。あまりに強烈でどうしても制作のプロセスが気になってしまいますが、絵具やガラスは制作後60年を経たとは思えないような生き生きとした姿をとどめており、作品そのものの美しさにも目を奪われます。なお本作は、2018年に修復が行われて以来、初めての公開となります。

大阪中之島美術館 主任学芸員 國井綾

※今回紹介した作品は、大阪中之島美術館と国立国際美術館の共同企画「すべて未知の世界へ -GUTAI 分化と統合」に出品されています。<10/22(土)~令和5年1/9(月・祝)まで> 最新情報はホームページにてご確認ください。
☎06-4301-7285 (大阪市総合コールセンター)

住所 〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-1 TEL 06-6479-0550(代表)
ホームページ <https://nakka-art.jp> アクセス ●京阪電車 中之島線 渡辺橋駅(2番出口)より南西へ徒歩約5分
●Osaka Metro四つ橋線 肥後橋駅(4番出口)より西へ徒歩約10分



嶋本昭三《1962-1》1962年
大阪中之島美術館会場出品

大阪市立の博物館・美術館・動物園 **Osaka Museums** <https://museums.ocm.osaka>

- 大阪歴史博物館
- 大阪城天守閣
- 大阪市立自然史博物館
- 大阪市立美術館
- 大阪市立東洋陶磁美術館
- 大阪市文化財協会
- 大阪市立科学館
- 天王寺動物園
- 大阪中之島美術館
- 大阪くらしの今昔館